
此処ニ在リ身ハ朽チ想ウ

嘩月ーka「d/z」ukiー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

此処ニ在リ身ハ朽チ想ウ

【Nコード】

N6432J

【作者名】

嘩月ーka「d／z」ukiー

【あらすじ】

ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー

時の限り愛せただろうか 優しき人達の哀歌が泣る
涙と花束抱き抱えていた

追悼の丘で泣り響く ただ聴いて黙っていた
平然を装い続ける 無表情に
誰よりも事実を受け入れたくなどないのに

冷たく闇が振る
花束を胸に抱く
人達の声は少しずつ消える

静か過ぎる丘でただ待ち続ける 幾夜の時が過ぎても
愛した人がいないのは 悲しい事実のせい
別れは突然 二人を割く

見えない空見上げ君想う
逢いたい忘れられたくない
影も差さぬ暗い夜 淋しさが身に染み渡る
明日の朝も暗い尽……

枯れてゆく花束 薄れゆく哀しみの声
此処にいない 苦しい事実

光が見えない

約束などしてないけど 逢いにきてほしかった
悲しみ溢れても 渴いた目に涙は無い
眠る事さえも出来ない

静かになった丘でただ待ち続ける 幾夜と時が過ぎた
愛した人がいないのは 人前で泣きたくないから？
別れた昔 二人はまだ

見えない空見上げ君想う
逢いたい忘れられたくない
影も差さぬ暗い夜 淋しさが身に染み渡る
明日の朝も暗い尽……

何年越えたかも解らない
逢いたい忘れられたくない
朽ちる軀暗い夜 淋しいが身に染み渡る
明日の朝もきつと……

ある日の足音静かに
少し変わった聞き慣れた声 「ごめんね」が響く

暖かな光が差す 安らかに眠り
最期の無言の言葉を

「
」

（後書き）

軀からだ

俚し

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6432j/>

此処ニ在リ身ハ朽チ想ウ

2010年10月17日14時31分発行